

幼稚園児たちに劇を披露する北大の
大学院生ら。24日午後、札幌市北区



免疫は体守るヒーロー

北大教授ら園児に熱演

【札幌】僕らの幼稚園に免疫戦隊「まもるんジャー」がやってきた！ 免疫を研究する北大の教授や大学院生らが24日、忍び込んだウイルスを体が退治する詳しい仕組みを、園児にも分かりやすく伝える劇を披露した。子どもからは「頑張れ」との声援や歓声が上がった。

インフルエンザが流行する時期。体に自分を守る機能があることや、それを助ける手洗いやうがい大切さを幼児に知ってもらおうのが狙いだ。

劇が披露されるのは札幌市北区の白楊（はくよう）幼稚

園。昼食を終えた園児の前に現れるのは司令官と3人の戦隊ヒーロー。ウイルスや細菌、カビなどの悪役「ぼっちいマン」をさまざまな技で倒していくストーリーだ。

司令官役は遺伝子病制御研究所の高岡晃教教授(47)。他のキャスト、衣装や音響といった裏方も学生が支える。

高岡教授いわく「正義の味方がただ悪役を倒すわけではないのがこだわり」。例えば体内の「キラーT細胞」がウイルスに感染した細胞を見つける際に使う物質を「ピリピリ棒」という武器で表現した。実は、大学で学ぶレベルの内容という。